



独立行政法人
国立国際医療研究センター

National Center for Global Health and Medicine

国府台

発行人 〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立国際医療研究センター国府台病院長 上村 直実
TEL:047(372)3501 FAX:047(372)1858



2014. 8月

第24号

[堀之内貝塚公園]

縄文時代後期の遺跡です。国指定の史跡であり、一帯は公園として整備されています。

目次

◇新任医師の挨拶	2
◇第14回肝臓病教室の開催報告	2
◇地域医療連携病院のご紹介	3
◇第15回肝臓病教室のご案内	3
◇栄養管理室の紹介	4
◇児童精神科病棟の行事	4
◇NCGMメディアセミナー	5
◇外来管理治療棟整備の案内	6~7
◇ふれあい看護体験	8
◇七夕かざり	8
◇第25回日本手術看護学会	9
◇生活習慣改善支援入院のご案内	9
◇栄養一口メモ	10
◇ご寄附の受け入れについて	10
◇編集だより	11

新任医師の挨拶



泌尿器科医師
吉田 賢

本年7月より泌尿器科医師として勤務することになりました。至らぬ部分も多く、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、お役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。

本年7月に着任した医師を紹介します。
どうぞよろしくお願い致します。



精神科レジデント
藤井 和世

本年7月よりレジデントとして勤務させていただくことになりました。精神科地域医療に興味があり、訪問看護ステーションACT-Jと連携しながら診療を行う予定です。これまで国保旭中央病院で勤務していましたが、地域の皆さんとも協力して精神保健につながる医療を提供したいと考えています。

第14回 肝臓病教室の開催報告

今回も熱心な参加者で会場は埋め尽くされました。また、約3割の方が初参加でしたので、本教室も徐々に広がっていることを感じさせられました。

初めに肝疾患先端治療室長の村田より「肝硬変の病態とその合併症～備えあれば憂いなし～」のタイトルで、肝硬変の患者さんで食道静脈瘤や肝不全（腹水、脳症）がどうして起こるのか、血液検査から読みとる自分自身の肝機能



状態、肝機能に合わせた治療法および注意点などの説明がありました。肝硬変患者さんに将来起こり得る「憂い」とともに、

それらの対応策「備え」についての説明により、将来的な不安が少しは和らいだのではないのでしょうか。また、最近の治療法の進歩により、B型肝炎のコントロールは良好になったこと、C型肝炎についてはインターフェロン無しの経口剤のみでウイルスを排除できる薬剤が開発されて近い将来使えるようになること、など患者さんにとって明るい話題も提供されました。

次に第二消化器科医長の今村より「当院における肝癌のテーラーメイド治療～病状・生活スタイルにあわせた治療法～」と題して、肝癌の診断法、肝癌の治療法の説明がありました。肝癌の治療法には手術療法、ラジオ波焼灼療法（RFA）、肝動脈塞栓療法（TACE）、肝動注化学療法、全身化学療法など各種ありますが、どの治療法を行うかは、肝癌の個数、肝機能の状態、肝癌が存在する位置、さらには患者さんの健康状態、仕事の都合などの社会的な状態、などを考慮した上で選択されることを強調されました。また、ビデオにて実際のラジオ波焼灼療法の様子も見せていただきました。当院の肝癌治療を任されている今村ならではの診療経験に基づいた講義でしたので、参加者の皆さんもよく理解できたのではないのでしょうか。

肝炎・免疫研究センター

肝疾患先端治療室長 村田 一素

1. 肝硬変の病態とその合併症
～備えあれば憂いなし～
肝疾患先端治療室長 村田 一素
2. 当院における肝癌のテーラーメイド治療
～病態・生活スタイルにあわせた治療法～
第二消化器科医長 今村 雅俊

開催日時：

平成26年6月21日（土曜日） 14時～16時

開催場所：

肝炎・免疫研究センター研修室A
（当院敷地内）

※ 講演の終了後に肝炎、肝硬変、肝癌を中心に個別相談を行いました。

さて、次回は、今回講演後のアンケート調査にて、講義希望として最も多かった「肝疾患における栄養療法」、「C型肝炎の最新の治療法」について行います。詳しくは次ページを御覧ください。

今後も皆様に役立ち、かつ病気に対する不安を解消させるような肝臓病教室を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



演者の村田（右）と今村（左）

地域医療連携病院のご紹介

市川市民診療所 所長 大島 朋光

市川市民診療所は昭和34年8月12日に開設し、その後2度の移転新築を繰り返して平成6年から現在の大洲にオープンしました。診療所は開設以来56年が過ぎましたが、一貫して「患者さんの立場に立って親切で良い医療」を提供することをモットーに、小児から高齢者まで幅広い患者さんの診療に従事してきました。

また訪問看護などが認められていない昭和40年代から「患者さんの家は病室、道は病院の廊下」だとして、訪問診療にも積極的に取り組んできました。これから高齢化がすすむ中で訪問診療がますます求められています。当診療所では併設の訪問看護ステーションやケアマネジャーと連携しながら訪問診療にも力をいれていきます。訪問診療は松戸市や船橋との市境までお受けしています。

さらに地域に認知症の方が増える中で、「地域で安心して暮らし続けられる街づくり」として認知症の方を支えるための認知症サポーターづくりにも取り組んでいます。

住 所：市川市大洲4-10-21
 電 話：047-376-2788
 診 療 科：内科、小児科、アレルギー科
 各種検診：市川市特定健康診断、企業健診、被爆者健診、乳児健診、半日人間ドック他
 予防接種：二種・三種・四種混合、ポリオ、肺炎球菌、日本脳炎、ヒブ、おたふくかぜ、水痘、麻疹風疹、B型肝炎、C型肝炎、インフルエンザ、成人肺炎球菌、ロタウイルス
 検 査：血液検査、レントゲン検査、胃造影検査、胃カメラ、注腸検査、心電図、ホルター心電図、腹部超音波検査、心臓超音波検査
 診療時間：午前 9:00～12:30 (月～土)
 午後 14:00～16:30 (月～木 予約外来)
 夜間 18:30～20:00 (水)
 訪問看護：午後 14:30～16:30 (月、火、木)
 ※日曜、祝祭日、5月1日(メーデー)及び12月29日～1月3日は休診です
 併設施設：いちかわ訪問看護ステーション
 ケアプランいちかわ(居宅介護支援事務所)



肝臓病教室のご案内 (第15回)

日 時：平成26年9月27日(土)
 14:00～16:00
 場 所：国立国際医療研究センター国府台病院
 肝炎・免疫研究センター研修室A

※ 予約は不要で、参加費は無料です。
 ※ 終了後に個別相談(肝炎、肝硬変、肝癌を中心に)も行います。
 ※ ご相談のある方は血液検査・CTなどの資料をお持ちいただくと、状態に応じた詳しい説明をお受けになれます。



プログラム

司会 肝疾患先端治療室長 村田一素

1. 慢性肝炎における食事療法の進め方
 ～糖質や鉄を摂り過ぎない食事管理の工夫～

栄養管理室 主任栄養士 古田 雅

2. 現在までに判明しているインターフェロン無しの新規経口2剤のC型慢性肝炎に対する治験結果
 ～国内外の成績と比較して日本人には本当に有用か？～

肝炎・免疫研究センター長 溝上雅史

お問い合わせ先：

〒272-0816 千葉県市川市国府台1-7-1
 国立国際医療研究センター国府台病院
 肝炎・免疫研究センター 村田 一素
 TEL: 047-375-4757(直)

職 場 紹 介 ～今回は、栄養管理室を紹介します～

栄養管理室の業務は入院・外来の患者さんにかかわる栄養管理全般を行うことです。

入院中のお食事は、患者さん一人ひとりの病状と体格や年齢・性別に合わせ、医師の指示に基づき作られています。病状により食事内容（糖質や脂質・塩分など）をコントロールする必要がある方、食べ物が飲み込みにくく食形態を調整する必要がある方、術後管理、アレルギーから嗜好まで毎食の治療食の種類は膨大になります。栄養管理されたおいしく安全な食事を日々提供するのが大きな仕事です。

1日3回年中無休で提供するためにたくさんのスタッフがいます。現在、管理栄養士は6名・調理師は8名ですが、他に食材の発注や食数管理、調理補助、食器洗浄などは委託職員が行っており合計すると50名近い大所帯になります。

併せて正しい食習慣の普及と適正な食事療法の理解のた

栄養管理室長 野口 一彦



撮影：株式会社日本医療企画

めに管理栄養士による栄養食事指導を行っています。親切でわかりやすい指導を心掛けています。お食事に関することは栄養管理室にお任せくださいね。

児 童 精 神 科 病 棟 の 行 事 ～キャンプ～

夏の恒例のキャンプを7月1日から1泊2日の日程で行いました。児童精神科の集団活動療法の行事の一環です。「キャンプに行くために頑張ろう。」と各々の児童が自分の課題と向き合い、キャンプ参加への切符を手に入れました。今年は体力づくりの為、散歩中に階段昇降をする姿が目立ちました。



バスに揺られ、高尾山の麓に到着し、41名の児童と28名のスタッフで山頂を目指しました。登山中「もう無理、だめ」「何で下ったの

にまた登るの」などの弱音も聞かれ、登頂は無理かなと思う児童もいましたが、スタッフみんなで体調に気をかけながら、後押ししていきました。すると大人の予想を裏切り、全員が見事に登り切ったのです！なかでも中学3年生は、児童精神科を卒業する年なので気合いが違います。特に中3男児が挑戦する、朝から夕方まで登山を行う大人でもき



つい、通称「嵐山コース」は児童精神科の伝統行事です。これは児童精神科病棟の最後の年に「やり遂げる」という貴重な機会になっています。

東3病棟 看護師長 多田 時江

普段、入院病棟という限られた空間の中で生活する児童たちが、多くの仲間や大人たちと共に頑張りました。児童は苦しみながらも、仲間と共に乗り越えるという経験を通し、集団で行うことであるからこそ達成できることがあると私は考えます。そして登山が終わった後には、普段見せることのない達成感に満ちた笑顔を見せてくれました。登山が終わるとバーベキューや、キャンプファイヤー、スイカ割りを行い、夜は児童同士テントで過ごします。次の日には筋肉痛の中、キャンプ場に併設された遊園地で遊びました。病棟の中ではみられない新たな子どもの一面をみられる機会でした。

このようなキャンプレクリエーションは、病棟で出来る体験の範囲を超えて、児童達にとっても良い影響を与えたように思います。また、キャンプから帰った後、病棟に併設されている院内学級で感想文を書くのですが、その中には「高尾山キャンプを経験して、心も体も一回り大きくなった気がします」と書いた児童もいました。



今回のキャンプを通して、子どもたちの成長を見ることができ、今後の入院生活でもキャンプの経験が活かされることを願っています。また毎年参加する児童が変わるため、その時々合った行程をスタッフと試行錯誤しながら考えていきたいと思っています。最後に、医師、看護師、学校教諭、ソーシャルワーカー、心理療法士等、多職種の方々に助けられながら事故もなくキャンプを終えることができたことに感謝いたします。

NCGMメディアセミナー

国立国際医療研究センターでは、当センターが取り組む健康・医療の課題をメディア関係者に広く共有してもらうために、平成25年度末からメディアセミナーを開催しています。メディア関係者の方々が、医療に関わる専門家から情報収集や不明事項の確認を直接行える一方、医療に関わる専門家もメディアの方々の質問から学び、視野を広げることができます。

7月28日の「世界肝炎デー」に合わせて、国府台病院の肝炎・免疫研究センターもメディアセミナーを行いましたのでその様子をご報告いたします。

セミナーは7月23日（水）18時から新宿区戸山にあるセンター病院のセミナー室で行いました。十分な周知期間を取ることができず、当日のメディア関係者の方々の参加は7名でしたが、出席できなかった関係者の方々から後日あらためて取材の申込みがありました。

今回のテーマは「肝炎」ということで、肝炎・免疫研究センターから、溝上センター長と考藤肝疾患先進医療研究室長がメディアの方々に説明を行いました。はじめに考藤肝疾患先進医療研究室長から「B型肝炎の最新治療」と題して、「抗HBV治療の進歩により、B型慢性肝炎の制御が可能となり、肝硬変への進展抑止や肝がんの抑止効果が期待される。」ことの説明があり、溝上センター長からは「C型肝炎は治る時代に！」と題して、「C型肝炎では高齢者ほど発がんしやすいため、高齢者にも使用できる副作用の少ない薬が望まれていたが、このほど、より安全で、治療効果の非常に高い薬の臨床試験が終了し、C型肝炎は薬で治る時代になる。」という説明がありました。

説明終了後に質疑の時間を取り、個別に疑問点等に答えていきました。

B型肝炎に関しては、主な治療薬であるペグインターフェロンと核酸アナログの効果の違いや、現時点での核酸アナログの第1選択薬であるエンテカビルと、2014年に新しく承認されたテノホビルの使い分け方など、具体的な質問が

事務部長 平田 真教

1. B型肝炎の最新治療

肝疾患先進医療研究室長 考藤 達哉

2. C型肝炎は治る時代に！

肝炎・免疫研究センター長 溝上 雅史

開催日時：

平成26年7月23日（水）18時～19時

開催場所：

国際医療協力研修センター4階セミナー室
(国立国際医療研究センター敷地内)

ありました。

また、C型肝炎に関しては、国立国際医療研究センターで実施した治験薬に質問が集中しました。これは、経口薬であり、インターフェロンを使用せずにC型肝炎ウイルスを100%排除する効果があります。具体的には、いつ頃から保険でも使えそうか？どのような副作用があったのか？80歳の高齢者にも使用可能か？など、期待感の大きさを感じさせるものでした。

今後、患者さんにも肝臓病教室などを通してわかりやすく説明する機会を設けて参ります（次回9月の肝臓病教室にてインターフェロンを使用しない新規経口薬について、溝上が講演する予定です。詳しくは3ページを御覧ください。）。

また、センター病院と協力しメディアセミナーを定期的で開催することにより、メディアを通して健康・医療の情報発信を行いたいと考えています。



肝疾患先進医療研究室長 考藤



肝炎・免疫研究センター長 溝上

外来管理治療棟整備の案内

管理課長 菅沼 洋

一昨年に新しい病棟（一般病棟）がオープンし、引き続き外来管理治療棟の建設工事を行って参りましたが、いよいよ来年完成する運びとなりました。“質の高い医療を提供し、安全で快適、環境へも配慮し、かつ持続可能性を持つ建物”というコンセプトで設計いたしました。

右側に完成予想図を掲載していますが、一般病棟の外観を踏襲しつつ、病院正面となる西側に、変化をもたせたデザインとなっています。正面中央部分は一面ガラス張りとし、その部分がエントランスホールとなっています。天井からも光が差し込む開放感のある明るい空間です。

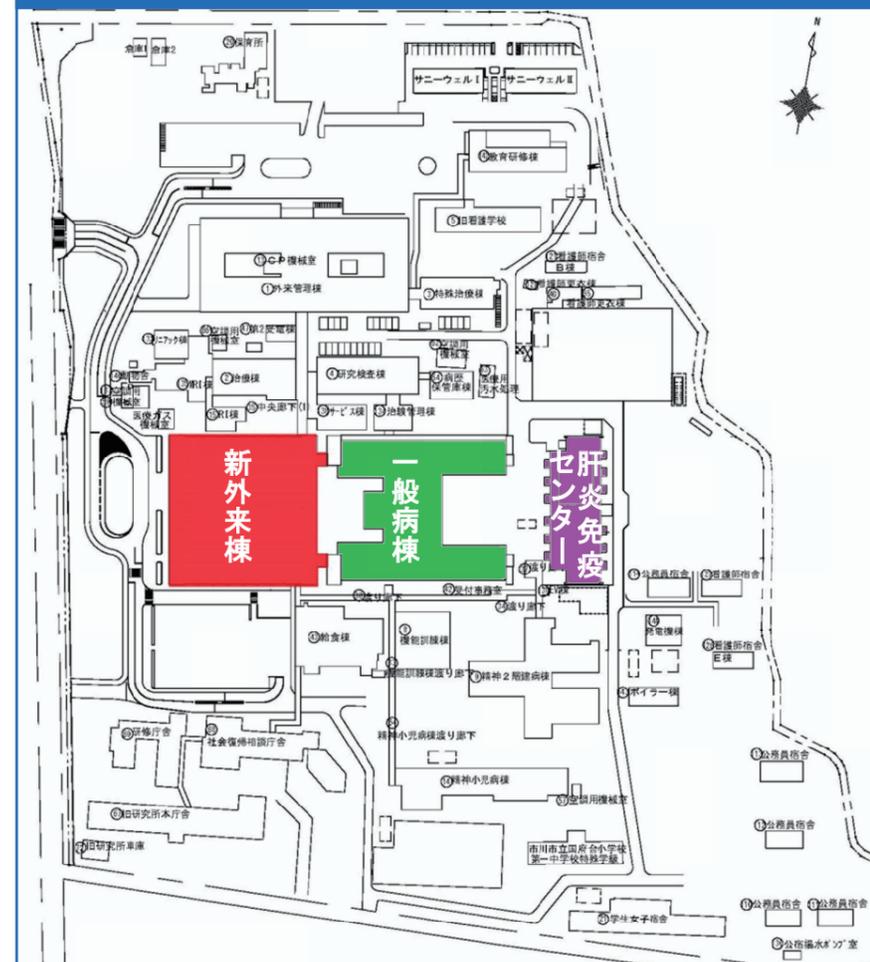
現外来管理棟の完成から約半世紀を経ていますので、機能面も格段に向上いたします。特に患者さんの動線と待合スペースにこだわって設計しています。右下にフロアマップを掲載していますが、1階及び2階が外来部分、4階が手術室となっています。1階と2階をエスカレーターで繋いで、患者さんの移動距離をなるべく短くするように工夫しています。

また、救急処置室から放射線部門、手術部門へスムーズに移動できるようになっております。さらに、各階を一般病棟に出入りできるように渡り廊下で接続しました。入院中に受診する場合、検査を受ける場合、手術する場合など迅速に対応できる構造にいたしました。待合スペースと患者さんの動線及び職員の動線を明確に分離し、患者さんの通行や待合の妨げにならないように配慮しています。

十分な耐震性を有し、災害時においても機能継続できるようにしています。最大72時間以上稼働可能な自家発電設備を設置しており、災害拠点としても機能することができる設計となっています。

建物の稼働については、現在のところ、平成27年5月のゴールデンウィークに現外来管理棟から引越を行い、ゴールデンウィーク明けからの稼働を予定しております。

配置図



フロアマップ

外来管理治療棟						一般病棟		
5階	講堂	機械室						
4階	手術室	医局				4階北病棟 4階南病棟		
3階	一般検査	管理部門				3階北病棟 3階南病棟		
2階	心療内科 循環器科 中央採血	外科 歯科 泌尿器科	糖尿内分泌 耳鼻いんこう科 婦人科	リウマチ科 皮膚科	消化器科 眼科 ペインクリニック	内視鏡 神経内科	2階北病棟 2階南病棟	
1階	総合受付 会計	総合内科 救急科	呼吸器科	整形外科	脳神経外科 放射線科	薬剤部 生理検査 治験管理室 臨床研究支援室		

ふれあい看護体験2014

看護部では、将来看護師になりたいという夢を抱いたり、看護の仕事に興味のあるという高校生に対して、少しでも私たちの仕事を身近に感じてもらえるようにと看護を体験してもらう企画を毎年行っています。今年も、近隣の高校



生5名（女性4名、男性1名）の応募がありました。

参加者全員が、将来は看護師に

なりたいという希望があり、緊張というよりはわくわくした期待感が感じられました。白衣の袖に手を通し、髪の毛もきれいに結った高校生は姿勢も凛とし、本当の看護師のように見えました。

2つの病棟に分かれ、看護師の仕事を見学し、患者さんの手や体を拭いたり、お風呂の介助などを体験しました。看護体験を通して感じたことでは「看護師さんは、一人ひとりの患者さんの状況をよく知って看護をしていることが分かった。」「患者さんと話すときは目線を合わせて、時に患者さんに触れたりしていた。」「看護師さんの優しさ、

東3病棟 看護師長 多田 時江

温かさを感じ、早く看護師さんになりたいと思った。」などの声が聴かれました。

数年後には、私たちの仲間になるかもしれない高校生に頼もしさを感じた時間でした。自分の夢が実現できるように心から応援したいと思います。



七夕かざり

毎年恒例となっている病院正面玄関の「七夕飾り」は、外来患者さんや入院患者さん達が短冊に願いを書くことで季節や癒しを感じて頂くことを目的としています。今年も色鮮やかな折り紙で七夕飾りを事務職員が作成し、笹を正面玄関に2本と各病棟に1本ずつ設置しました。

短冊には様々な願いごとが書かれており、「〇〇さんの病気が早く治りますように。」という家族の優しい願いごとや、「億万長者になれますように。」という夢のような願いごとなど様々な願いが込められた沢山の短冊が飾られました。

ふと、20年前？に自分が子供だった頃の「願いごと」を思い出してみました。



「野球が

管理課 庶務係長 笠原 正寛

うまくなりたい、足が早くなりますように。」そんな類の願いごとだったような気がします。さて、その願いは叶ったのだろうか・・・。

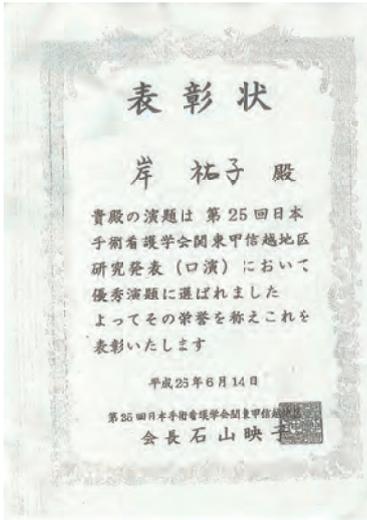
自分も短冊に願いごとを書こうとペンを手に取りました。もちろん現在の願いごとは、「家内安全と、家族の健康」です。しかし、それを書くのは何だか恥ずかしい・・・。散々悩んだあげくに書いた願いごとは、「野球がうまくなりますように。」結局20年前と進歩せず、願いごとは同じになってしまいました。週末に趣味でプレーしている野球の神様に、「おじさん」の願いを叶えてくださいという切実なものです。

七夕当日の天気は、曇り空という残念な天気になってしまいましたが、患者さんや家族の方の「願いごと」は、天に届いていることなのでしょう。そして、みんなが元気になり笑顔でいてほしいと願います。

家に帰りながら「家内安全と家族の健康」と短冊に書けば良かったなあと、自責の念に駆られました。来年こそは、短冊の願いごとにこれを書こう、そう心に決めて、玄関の扉を開けました。

第25回日本手術看護学会

手術室看護師 岸 祐子



本年6月14日(土)、パシフィコ横浜にて第25回日本手術看護学会(関東甲信越地区)が開催されました。今回のテーマは、考えよう「周手術期管理チーム」一チームで行う安全管理一でした。

「神経性食欲不振症で高度やせ患者に腹腔鏡手術体位を施行した1例」という演題で口演発表を行い、優秀演題に選ばれましたので報告いたします。

神経性食欲不振症で高度やせの患者の周手術期看護を行った件について発表しました。腹腔鏡手術体位での身体損傷がハイリスクであったため、多職種(理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師、麻酔科医、執刀医)に介入を依頼して対応しました。その結果、術中、術後に問題なく経過できました。また、神経性食欲不振症患者特有の問題点を予測し周手術期看護に活かすことができました。

結論として、神経性食欲不振症で高度やせ患者の腹腔鏡手術体位を施行するにあたり、多職種の専門性を活かし、術前シミュレーションの実施や適切なマット類の選択、必要物品の準備をすることは有効でした。手術室看護師が神経性食欲不振症患者特有の問題点をアセスメント(※)し、周手術期看護に活かすことは極めて重要な取り組みであるということがわかりました。

手術室看護師としての取り組みが、この度、優秀演題に選ばれたことは大変うれしく思います。

今後は、今まで以上に手術室看護師としてよりよい看護ができるように、努力してまいります。

※ある事象を客観的に評価すること



生活習慣改善支援入院のご案内

2階南病棟 看護師長 飯田 智博

土日利用の4泊5日の入院で生活習慣を見直しませんか？

- 生活習慣が乱れている方、見直したいと思っている方
- 健康診断で肥満、血圧、コレステロール値などの異常を指摘されている方、改善しない方



医師・看護師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師がチームを組み、1対1で指導し、生活習慣を改善するためのサポートをしています。

興味のある方は内科外来までご相談下さい

☆☆ 今回のテーマ： 脂肪酸 ☆☆

脂質の主成分！見える油と見えない脂の摂り過ぎに注意！？

脂肪酸は動物性のバターやラード、植物性の大豆油、菜種油、オリーブ油といった「見える油」に多く含まれますが、これらのほかに、肉類や魚介類、卵、豆類、乳製品などに含まれる脂質に脂肪酸は存在し、食品として摂取されるのは、この「見えない脂」のほうが大きな比重を占めています。したがって、知らず知らずのうちに摂り過ぎてしまうことがあります。また、見える油の中でも「血液をサラサラにする油」、「コレステロールを下げる油」だからといっても脂質は1g当たり9kcalのエネルギー源となり、糖質やたんぱく質の1g当たり4kcalよりもカロリーが高く、過剰に摂取した場合は生活習慣病の要因になります。

但し、体内で合成できない栄養成分である必須脂肪酸も含まれており、ただ減らすのではなく、1日の食事の中でバランス良く摂り入れていくことが大切です。

今回は、栄養が偏らないためにも一緒に摂取しておきたい“旬”の野菜食材を紹介します。

ナス

ナスは水分を多く含む野菜として知られていますが、ビタミンB群やC、カリウム、食物繊維などもバランス良く含んでおり、特に豊富に含まれるカリウムは血圧の上昇を抑える作用があるので、高血圧予防に繋げることができます。また、皮に紫黒色の色素アントシアニンなどの抗酸化成分ポリフェノールが含まれているため、老化や動脈硬化予防などへの効果が期待されています。

夏野菜は全体的に身体を冷やす冷却効果がありますが、中でもナスの冷却作用は強いので、日焼けなどで身体が火照っている時などに食べてみると良いでしょう。代表的な焼きナスの他にも、炒め物や煮物などでも美味しく、夏を味わえる使いやすい野菜です。

＜夏野菜のピリ辛炒め＞

◇調理時間15分

◇材料 (2人分)

ナス2個、トマト大1個、
ピーマン2個、ズッキーニ1/2本、
トマトケチャップ大さじ2杯、
醤油大さじ1杯、油大さじ1杯、
刻み唐辛子1/2本、
鶏がらスープの素小さじ1



- ①ナスはヘタを切り落とし縦4つ、更に半分になり、水でアク抜きする。
- ②ピーマンは縦4つに切り、ヘタと種を取って水洗いする。
- ③ズッキーニは水洗いし両端を切り落とし、皮をむき、一口大の乱切りにする。
- ④トマトは水洗いしヘタをくり抜き、くし切りにする。
- ⑤鍋にサラダ油を入れ強火で熱し、ナスを炒める。
- ⑥ナスの色目が変わってきたら、ピーマン、ズッキーニ、トマトを加え炒め合わせる。
- ⑦全体にしんなりしてくれば、調味料を加え、からめるように炒め合わせて器に盛る。

暑い夏にも負けない健康づくりへ 美味しく簡単野菜料理

ご寄付の受け入れについて

国府台病院は、総合的機能を有する病院として地域に密着した医療サービスを提供する一方、高度専門医療の分野を肝炎・免疫疾患と位置付けし、これらを主体とした疾患の診断、調査、研究、研修を国内外に提供する役割を担っています。職員一人ひとりが職種の隔たりを取り払い患者の皆様のために結集し、そして、人にやさしい医療の理想像を求めて患者さんの健康ニーズや病気の悩みに応えられる総合医療を推進していきたいと考えています。私たち国府台病院の運営にご理解を頂くと共に、ご支援を賜りたく存じます。

◆頂いたご寄附の使用について

目的を指定で頂いた場合は、目的に従って利用させていただきます。また、使用目的が明確でない場合であっても、国立国際医療研究センター業務の範囲内で使用させていただきます。

詳しくは当院ホームページ (<http://www.ncgmkohnodai.go.jp/contribute.html>) を御覧ください。

なお、職員の福利厚生目的では使用いたしません。

◆ご寄附の方法

- ①当院事務部管理課までご連絡下さい。
電話(代表)047-372-3501 内線2302 管理専門職
- ②「寄附申出書」を手渡し又は郵送させていただきます。
※用紙は当院ホームページからでもダウンロード出来ます。
- ③「寄附申出書」をご記入の上、ご返送又はお届け下さい。
- ④受け入れが決定しますと「寄附受入書」を送付します。
- ⑤指定の口座へお振り込み下さい。
- ⑥ご入金確認後に「寄附領収書」を送付します。

編集だより

編集部

“堀之内貝塚公園をご紹介します”

丘陵地にあり、園内の大部分が雑木林です。鳥や昆虫、珍しい草花など自然に溢れています。木々の間を縫うようにして歩道が整備されており、多くのハイキングコースに組み込まれています。市川市の「北西部水と緑の回廊」の散策ルートにも設定されています。

縄文時代後期の遺跡として有名なこの貝塚は、明治時代から繰り返し発掘調査が行われました。この地で出土した土器は「堀之内式土器」と名付けられ、他にも竪穴式住居跡や石器なども発掘されました。昭和39年に国の史跡に指定され、その後一般市民に広く啓発する目的で公園として環境整備されました。

かつて市川でよく盆踊りに使われていた、「新・市川音頭」に“掘れば出る出るあの堀の内”と歌われるほどたくさんのお土産品がありました。

隣接する考古博物館では、出土品の一部が公開されています。原始、古代の市川の様子を垣間見ることができます。



歩道の様子

公園を散策していると貝殻が落ちていました。ここが貝塚であることを思い起こさせてくれます。白く見えるものは貝殻片です。



市川歴史博物館

すぐ隣に歴史博物館、考古博物館があります。夏休み中ということもあり、親子で来ている方もいました。



明治天皇行在所記念碑

明治天皇が行幸された際に立ち寄られた、市川第六天前が天然記念物(※)とされたことを記念して、昭和10年に作られたそうです。
※現在は解除されています。



交通
・北総鉄道北国分駅から徒歩約8分
・JR総武線市川駅北口から「北国分駅」行き、「聖徳学園」行き、または「国分経由 松戸駅」行きバス
「博物館入口」下車 徒歩10分

外来診療担当医師一覧表

Table with columns for Department (診療科・曜日), Day (月, 火, 水, 木, 金), and Doctor Name. It lists various medical departments like Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, and Psychiatry with their respective staff members.

(注) 1. 外科及び整形外科の担当医は、手術などの都合で変更(交替)になる場合があります。

* 初診受付時間：8時00分～11時

* 再診受付時間：8時00分～11時

※1 循環器科：木曜日の初診診察は行っていません。

※2 心療内科：初診は完全予約制 電話受付時間は平日16～17時まで、又は平日心療内科外来窓口にて受付けます。(心療内科外来に半日以上来院していない場合は、再診ではなく初診となります。)

※3 神経内科：初診・再診ともに完全予約制 電話受付時間は平日16～17時 神経内科外来にて受付けます。

※4 外科：ストーマ外来は完全予約制で外科外来窓口にて受付けます。

※5 精神科：初診は1日4名迄(先着順) + 予約枠2名(電話予約受付時間は月・火・木・金(水を除く)の14時～16時迄、又は平日精神科外来窓口にて受付けます。)

※6 睡眠障害専門外来の初診予約受付は電話のみ(047-372-3501)、当月の予約は前の月の平日1日16時から受付けます。(1日が土日祝日の場合は翌平日となります)

※7 児童精神科：初診予約受付は電話のみ。受付時間は水曜日10時～12時迄受け付けています。

※8 歯科外来：初診は予約制です。電話受付時間は平日16～17時 歯科外来にて受付けます。

※9 フットケア外来は完全予約制です。診察時間は9時～9時30分、13時00分～13時30分の2枠。診察場所は内科外来第1診察室になります。

(第4木曜日のみ14時45分～15時15分の1枠のみとなります。)